

【別冊 5】

令和 2 年登米市議会定例会 2 月定期議会 資料

一般会計・特別会計・企業会計
令和 2 年度当初予算の概要

令和 2 年 2 月 3 日

令和2年度当初予算の概要

〔一般会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ440億696万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、30億2,296万円、6.4パーセントの減額となっております。

歳入では、一般財源として、市税76億8,383万円、地方交付税163億4,800万円を見込み、特定財源として国・県支出金78億3,176万円、市債41億7,300万円、更に各種特定目的基金から9億9,661万円を繰り入れし、財源不足分については財政調整基金からの繰入金14億6,624万円を計上しております。

歳出では、未来のまちづくり支援事業1億4,552万円、認定こども園施設整備事業9億1,858万円、企業立地促進事業4億2,693万円、道路新設改良事業8億4,602万円、市営住宅建替事業8,901万円、防災情報伝達手段整備事業7億1,981万円などを計上しております。

また、債務負担行為8件、地方債30件を計上しております。

〔国民健康保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ87億4,259万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、2億3,256万円、2.6パーセントの減額となっております。

歳入では、国民健康保険税16億6,383万円、県支出金61億4,887万円などのほか、一般会計繰入金6億1,477万円を計上しております。

歳出では、保険給付費61億79万円、国民健康保険事業費納付金23億3,705万円、保健事業費7,851万円などを計上しております。

〔後期高齢者医療特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ8億4,002万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、6,669万円、8.6パーセントの増額となっております。

歳入では、後期高齢者医療保険料5億8,148万円、諸収入1,620万円などのほか、一般会計繰入金2億4,213万円を計上しております。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金7億9,583万円などを計上しております。

〔介護保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ101億7,538万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億3,181万円、1.3パーセントの増額となっております。

歳入では、介護保険料20億9,934万円、国県支出金39億9,393万円、支払基金交付金26億1,872万円などのほか、一般会計繰入金14億6,183万円を計上しております。

歳出では、介護サービスなどの保険給付費94億2,752万円、地域支援事業費4億2,761万円、基金積立金1億4,802万円などを計上しております。

〔土地取得特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ9万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、731万円の減額となっており、歳入では、土地開発基金積立金利子などを、歳出では、土地開発基金への繰出金などを計上しております。

〔宅地造成事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ3千円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1,079万円の減額となっており、歳入では、財産売却収入などを、歳出では、土地取得特別会計などへの繰出金を計上しております。

〔水道事業会計〕

業務の予定量について、給水件数を3万100件、年間総有収水量を764万 m^3 と定め、収益的収入の予定額を26億4,814万円、支出の予定額を26億5,816万円とし、単年度では純損失が9,770万円となり、前年度繰越利益剰余金1億208万円により年度末の未処分利益剰余金は437万円となるものであります。

営業収益では、前年度より1,352万円増の22億7,221万円、営業費用については、前年度より4,743万円減の24億2,245万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を9億1,468万円、支出の予定額を19億4,863万円とし、取水施設整備事業、浄水施設整備事業、配給水施設整備事業などの建設改良費に12億1,485万円、企業債元金償還金7億3,378万円などを計上しております。

また、債務負担行為3件、企業債4件を計上しております。

〔下水道事業会計〕

業務の予定量について、水洗化世帯数1万8,150件、年間総有収水量を455万 m^3 と定め、収益的収入の予定額を39億5,844万円、支出の予定額を40億6,331万円とし、単年度で純損失が1億5,188円となり、繰越欠損金3億4,247万円により年度末の未処理欠損金は4億9,435万円となるものであります。

営業収益では、8億1,060万円、営業費用については、34億6,098万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を24億1,202万円、支出の予定額を33億8,433万円とし、汚水管渠整備事業、雨水排水路整備事業、処理場更新事業、浄化槽整備事業などの建設改良費に11億5,008万円、企業債元金償還金21億8,423万円などを計上しております。

また、債務負担行為3件、企業債3件を計上しております。

〔病院事業会計〕

業務の予定量について、延べ患者数を入院11万7,142人、外来20万4,416人と定め、収益的収入の予定額を73億4,929万円、支出の予定額を77億8,187万円とし、単年度の純損失を4億3,258万円とするものであります。

医業収益については、前年度より6,591万円増の62億9,287万円、医業費用については、前年度より9,486万円減の75億2,319万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を7億9,539万円、支出の予定額を8億3,879万円とし、医療機器等整備事業や医療情報システム導入事業などの建設改良費2億9,580万円、医学生奨学金等貸付金2,080万円、企業債元金償還金など5億2,218万円を計上しております。

また、債務負担行為1件、企業債2件などを計上しております。

〔老人保健施設事業会計〕

業務の予定量について、延べ利用者数を入所2万4,820人、通所7,084人、居宅240人と定め、収益的収入の予定額を4億5,112万円、支出の予定額を4億6,927万円とし、単年度の純損失を1,814万円とするものであります。

事業収益については、前年度より901万円増の4億2,874万円、事業費用については、前年度より2,397万円増の4億5,745万円を計上しております。

資本的収支では、収入及び支出の予定額をそれぞれ4,435万円とし、電動ベッド購入などの建設改良費300万円、企業債元金償還金4,135万円を計上しております。